

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	ノーマライゼーション環境小委員会		主 査 名：八藤後 猛 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：布野 修司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノーマライゼーションの概念が、全ての人のニーズに的確に反映した環境の構築を目指すことから、医療、福祉などの関係領域の研究者との連携による「ICF 等国際的指標の建築計画研究へ適用に関する研究事業」を立ち上げ、新しい研究アプローチ方法の開発を目指す。</li> <li>・ 建築学の立場からこれまでの大学生活環境整備の変遷をあらためて見直し、ハード・ソフト両側面から、障害をもつ学生等の大学生活を保障するための環境整備方針について提言する。</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：八藤後猛(日本大学) 幹事：佐藤克志(日本女子大学) 阪東美智子(国立保健医療科学院) 水村容子(東洋大学) 委員：足立啓(和歌山大学) 川内義彦(アクセスプロジェクト) 齋藤芳徳(川崎医療福祉大) 佐伯博章((株)地域総合設計) 鈴木義弘(大分大学) 鈴木麻衣子(東京工業大) 寺島薫((株)アークポイント) 山脇博紀(筑波技術大学) 千里政文(北海道浅井学園大学) 大野拓也(大阪大学大学院)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	272,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s12/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s12/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回(年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 新しい高齢者施設を考える(研究会と見学会) 参加者数 30 名 2. 公開研究会 障害をもつ学生の大学生活支援に関するプログラム 参加者数 25 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 障害をもつ学生等に対する教育支援制度・施設環境に関する研究事業では、予定通り、我が国における現状と課題の全容をほぼ把握できた。建築計画的課題であった、マニュアル作成の準備も整ったと考える。次年度は、この事業第一段階のまとめの時期と位置づけ、計画マニュアル作成に向けて研究活動を行う。 2. 国際生活機能分類(ICF)の建築計画研究への適用に関する研究事業では他領域分野の研究における ICF の意味と活用状況の把握をほぼ終了した。今後のコラボレーションに向けたネットワークづくりと建築計画研究への適用提言を次年度目標としていきたい。
委員会活動の問題点・課題	前年の課題でもあった、研究事業テーマが専門特化したものであるため、建築計画関係者に向けても、建築計画との結びつきについて十分な理解が得にくく、これらの普及を妨げている。成果を一般化し、成果の具体的なイメージを提示することが、次年度の大きな課題と考える。